

大分西部森林管理署交渉(全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会)

議事要旨

1 日 時 令和8年6月25日(木) 17:20～18:20

2 場 所 大分西部森林管理署 会議室

3 出席者

大分西部森林管理署

杉崎 浩史 署長

峰 俊之 次長

山口 昌幸 総括事務管理官

全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会

蒲池 勝也 執行委員長

市原 増雄 副執行委員長

木下 昂大 書記長

梶原 奈央 執行委員

4 交渉事項

(1) 職員の負担軽減及び超過勤務縮減について

(2) 心の健康づくり対策について

5 交渉概要

(職員団体)

職場内の各担当・各事業の様々な課題にかかる連携について、見解を伺いたい。

(当局)

職員が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けるとともに、人事面談や職員から報告を受ける際、必要に応じ管理者から「何かあればいつでも相談にのる」といった声掛けを行ってコミュニケーションを図っているところ。

(職員団体)

年次休暇の取得しやすい職場づくりを求めるとともに、管理者が率先して年次休暇を取得してほしい。

(当局)

年休取得は職員の心身の健康保持やワークライフバランスの実現等の観点から重要であると認識しており、引き続き、年休取得がしやすい職場環境の整備に努めている。

きたい。

超勤時間については、例年、年度当初、年度末に増加する傾向にあるが、昨年度は、大きな災害もなかったことや定時退庁の実施等もあり、減少しているところである。

引き続き、ワークライフバランスの推進に向けて、定時退庁の呼びかけを行う。

また、業務の効率化や非常勤職員の有効活用、毎月の超勤取得状況を確認し、必要に応じた応援態勢の検討など、職員とのコミュニケーション等を通じて超過勤務の縮減に取り組む考えである。

管理者としても率先して自身の年次休暇の取得と超過勤務の縮減に努めることとしたい。

(職員団体)

心の健康づくりの対策について伺いたい。

(当局)

職員がいつでも心と体が健康であることは、公務災害の防止、効率的な業務運営につながるだけでなく、職場の活性化や家庭生活においても特に重要なものであると考えている。

そのためにも、目配り、気配り等を行いながら、率先して明るい職場づくりを心掛けるとともに、職員のストレス状況の把握や要因の軽減、職場環境の向上、良好な人間関係づくり、相談しやすい雰囲気づくりなど、風通し良く働きやすい職場づくりに努めることが必要と考えているところであり、ご協力をお願いしたい。

また、職員が心の不健康な状態になったときには、心の健康づくり相談員等の専門家への相談や治療など、適切な対応を早期に実施することとしている。

なお、具体的な取組にあたっては、個人のプライバシーに十分配慮して慎重かつ的確に取り組むよう留意してまいりたい。

以上